

ラオス サワン・セノ経済特区 現地事情セミナー&交流会

～東西回廊の産業集積拠点を目指せ！経済特区関係者からの報告と交流会の実施～

長らくアセアン唯一の内陸国として、近代工業化の波に乗り遅れたかのようにのどかな農業国の様相を呈してきたラオスですが、近年、ビエンチャンには高層ビルが建設され、車の渋滞も起こる程開発が進んでいます。インドシナ半島を縦横断する東西回廊、南北回廊や鉄道網の整備が進む中、周辺諸国は国境地帯に経済特区の開発を進めています。昨年末アセアン経済圏が発効し、本州と同じ面積の国土に650万人の人口しか持たないラオスは、どのように周辺国との差別化を図るのでしょうか。

今回は、日系企業の進出で注目されるタイ国境沿いにあるラオス第二の都市・サバナケットに建設されたサワン・セノ経済特区を中心にラオスやサバナケットの状況、また日本企業にとってラオスの魅力などについて、国際協力機構（JICA）研修員として来日する「ラオス日本センター（LJI）」（注）やサワン・セノ経済特区の関係者をご紹介します。

セミナー後には、来日した10名の研修員との交流会もセッティングしています。ラオスへの進出を検討、希望する皆様には、現地事情を得られる機会として、また、ネットワークづくり場として活用いただきたく、奮ってご参加ください。

*1 発表はラオス語で行われ、日-ラオス語の逐次通訳が入ります。

*2 ラオス側参加者の所属先について

サワン・セノ経済特別区委員会、ラオス日本センター副所長、サバナケット大学、サバナケット商工会、Savan Institute of Management (SIM)

注)「ラオス日本センター（LJI）」とはラオスと日本両国間のビジネスを人材育成面でサポートするラオスの教育機関です。 <http://www.jica.go.jp/japancenter/laos/index.html>

【日 時】 2016年9月30日（金）
16:00～17:30（セミナー）
◆「ラオス現地事情・動向・課題について」
ラオス日本センター 副所長 パンパキット・オンパンダラ氏
◆「サワン・セノ経済特区の現状について」
サワン・セノ経済特別区委員会 スクダラ・サブボン氏
17:45～18:45（交流会）

【会 場】 クリエイターズプラザ 研修室B（クリエイション・コア東大阪 南館3F）
東大阪市荒本北1-4-1（近鉄東大阪線「荒本駅」下車5分）

【参加費】 無料

【対 象】 大阪府内中小企業、支援機関など

【定 員】 10名程度（先着順・定員に達し次第、締め切らせていただきます。）

【主 催】 独立行政法人国際協力機構 関西国際センター（JICA関西）

【共 催】 リロ・パナソニック エクセルインターナショナル株式会社（JICA研修受託機関）

【協 力】 ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）
公益財団法人 太平洋人材交流センター（PREX）

【問合せ先】 リロ・パナソニック エクセルインターナショナル株式会社
国際協力事業グループ 林/辰巳
Tel.06-6206-1014（直通） Email: eico-jtr@relo.jp

